

コンピューターガイドドサージェリーを使う

『より安全に』『より正確に』をめざすサポート

一般的に評価の高いコンピューターガイドドサージェリーですが、課題もあります。Bionicではシミュレーション段階、ガイド設計段階において個別相談に応じます。たとえば下記のような事例も、症例に応じた対応を致します。BioNa・Bone Navi®Systemは、施術者側にとって非常に自由度の高いシステムとなっています。

問題点

1

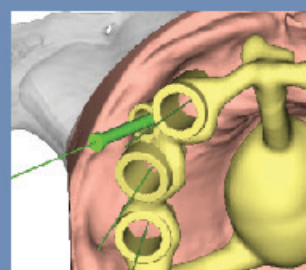
埋入施術中にガイドのズレを見逃すことがある

解決策

1

アンカーピンでガイドを固定する

術中ガイドが動いてしまわないように、アンカーピンやミニインプラントなどで固定しておく、というのが対策のひとつです。BioNa®でシミュレーションし、ガイドに反映させることが可能です。



問題点

2

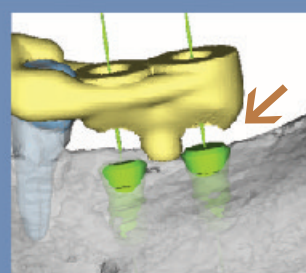
注水に不安を感じることもある

解決策

2

注水ができるようなガイド設計を行う

骨面とガイドチューブ部の間に空間が空くような設計を行っています。その部分を目掛けてシリンジなどを用いて注水し、オーバーヒートを防ぎます。



問題点

3

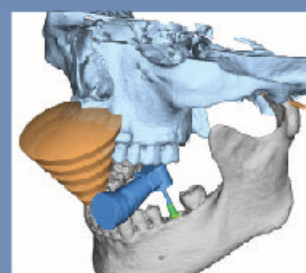
開口量の問題でコントラがぶつかってしまう

解決策

3

シミュレーション段階でコントラの干渉をチェックする

事前に患者さんの開口量を計測しておいてください。BioNa®上でコントラモデルと計測ツールを表示させ、干渉しないかどうかチェックすることができます。



「より安全に」「より正確に」のサポートを目指します。